

授業科目名	保健体育科教育法		授業形態	講義	授業科目区分	教職科目 (専門)	
担当教員名	浜田 幸史・梶 ちか子				補助担当者名		
単位数	2 単位	履修年次	2年次		受け入れ人数	180人程度	
授業の概要	本授業では、保健体育教師を目指すためのガイダンスの内容を取り上げる。特に、保健体育教師として身に付けておかなければならない資質・能力に関する内容としての授業作りや教材研究の進め方、部活動指導への関わり方などについて理解を深めることができるようにする。さらに、学級経営や生徒指導など学級担任として果たさなければならない役割等についても理解することができるようにする。また、都道府県及び政令指定都市における教員採用試験の内容についても調べ、見通しを立てながら計画的に準備を進めることができるようにする。						
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法			
	D Pで 目指す 資質・ 能力	指導者基礎力、専門的な知識・教養 (指導者基礎力、専門的な知識・教養 (一般教養・倫理))	授業期間			定期 試験	割合 %
			授業	テスト	レポート		
	認知的領域	保健体育教師として身に付けておかなければならない資質・能力について理解を深め、説明している。 教職全般に関して、自らが取り組むべき課題を見付けている。					50
	情意的領域	学習指導要領や教育の今日的課題の理解に向けて意欲的に取り組もうとする。 授業に出席し、主体的に自分の考えを述べたりまとめたりしようとする。					30
技能的領域	保健体育の授業実施計画や学習指導案の作成、部活動指導等について、課題に合わせた書式を作成することができる。					20	
成績評価の基準	授業の到達目標に照らして、上記3領域に示した割合で総合的に評価する。出席が3分の2に満たない場合は履修放棄とみなす。						
テキスト、教材 参考書	参考書 文部科学省「中学校学習指導要領解説(保健体育編)」及び「高等学校学習指導要領解説(保健体育編・体育編)」 杉山重利・佐藤豊・園山和夫編著「新・目指そう保健体育教師」朝日出版社 伊藤博子著「保健体育教師になろう」大修館書店						
履修条件・ 関連科目	教職科目全般	備考(教員メッセージ含む)	保健体育教師を目指すに当たってのガイダンスの内容を学習します。本講座を受講して教職についての理解を一層深め、保健体育科教育法 ~ の履修に向けての見通しを立ててください。 実務経験のある教員による授業科目：学校現場における教員経験者				
オフィス・アワー	随時：浜田(研究棟6階608教員研究室) 梶(研究棟7階703教員研究室)						
授業計画							
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)		
1	浜田 幸史 梶 ちか子	オリエンテーション、保健体育教師の仕事			授業内容の復習(30分)		
2	"	我が国の学校と教員、今日的課題			授業内容の復習(30分)		
3	"	保健体育教師を目指すには(出身地の「教員採用試験の動向」)についてのレポート課題)			授業内容の復習(30分) レポート作成(2時間)		
4	"	保健体育教師に求められる資質・能力とは			授業内容の復習(30分)		
5	"	体育授業の指導1			授業内容の復習(30分) 学習ノート評価		
6	"	体育授業の指導2			授業内容の復習(30分)		
7	"	体育授業の指導3			授業内容の復習(30分)		
8	"	体育理論授業の指導			授業内容の復習(30分)		
9	"	保健授業の指導1			授業内容の復習(30分)		
10	"	保健授業の指導2			授業内容の復習(30分) 学習ノート評価		
11	"	運動部活動の指導(「運動部活動の在り方」等に関するレポート)			授業内容の復習(30分) レポート作成(2時間)		
12	"	学級担任の仕事			授業内容の復習(30分)		
13	"	教育実習のねらいと実際			授業内容の復習(30分)		
14	"	教育実習Q & A			授業内容の復習(30分)		
15	"	教員採用試験合格を目指して			授業内容の復習(30分) 学習ノート評価		
16	"	学期末試験			学期末試験内容の復習(1時間)		